



1年中サーフィンに適した波がある海岸線

宮崎県ではサーフィンのポイントが北から南まである。北から日向市の伊勢ヶ浜、お

宮崎県は「サーフィン」でも有名である。日本におけるサーフィンの天国、聖地とも言われている。これは南北に一直線に延びた海岸線が太平洋に面しているため、1年を通して波が良く、かつチューブ(トンネルのように巻く波)も出現する。

初心者から上級者まで楽しめる。毎年、ゴールドンウィークには多くの人がサーフトリップ(サーフィン+旅行)で宮崎に滞在し、サーフポイントには県外ナンバーの車があふれる。また、宮崎の波が忘れられず移住する人までいる程だ。

### 12カ所のポイント

## 東京五輪の世界予選会場に

# マリンスポーツ振興で活性化

ター)、高鍋町の蚊口浜、宮崎市の木崎浜、青島、内海、日南市の風田浜、梅ヶ浜、大堂津、串間市の恋ヶ浦等12カ所が挙げられる。中でも有名なのは日向市のお倉ヶ浜(「ヒューー」日青島ビーチへと続いている。この砂浜は2+程あり青島ビーチへとお倉ヶ浜、宮崎市内および宮崎空港並びに神戸方面と連絡しているフェリー乗り場がある宮崎

また、木崎浜は近くに大リゾート基地の青島があることも影響が大きいと考えられる。来年、東京五輪サーフィンの世界予選が開催される宮崎市の木崎浜についてコメントしてみたい。木崎浜海岸は、宮崎県総合運動公園のすぐ近くに位置し、砂浜はさらさらしている。この砂浜は2+程あり青島ビーチへとお倉ヶ浜、宮崎市内および宮崎空港並びに神戸方面と連絡しているフェリー乗り場がある宮崎

また、木崎浜は近くに大リゾート基地の青島があることも影響が大きいと考えられる。来年、東京五輪サーフィンの世界予選が開催される宮崎市の木崎浜についてコメントしてみたい。木崎浜海岸は、宮崎県総合運動公園のすぐ近くに位置し、砂浜はさらさらしている。この砂浜は2+程あり青島ビーチへとお倉ヶ浜、宮崎市内および宮崎空港並びに神戸方面と連絡しているフェリー乗り場がある宮崎

また、木崎浜は近くに大リゾート基地の青島があることも影響が大きいと考えられる。来年、東京五輪サーフィンの世界予選が開催される宮崎市の木崎浜についてコメントしてみたい。木崎浜海岸は、宮崎県総合運動公園のすぐ近くに位置し、砂浜はさらさらしている。この砂浜は2+程あり青島ビーチへとお倉ヶ浜、宮崎市内および宮崎空港並びに神戸方面と連絡しているフェリー乗り場がある宮崎

ファアが集まり、サーフィンの大会会場となることも多い。

宮崎県には国内最南端の天然スキー場、五ヶ瀬ハイランドスキー場もある。こういったウィンタースポーツであるスキーとマリンスポーツであるサーフィンの両方が同時に楽しめるという、国内でも希有な存在といえる。(宮崎支所、不動産鑑定士・富永伸二)

## 一般財団法人日本不動産研究36

# 地域資源を生かす

～まちづくりからインバウンドまで

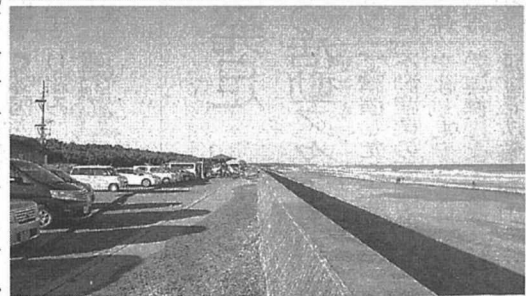
## 宮崎 サーフィン天国

街」を標榜している。17年世界シニアサーフィン選手権が開催された」と宮崎市の木崎浜である。

なお、17年の宮崎県による県外サーファーの実態調査によると、両海岸における年間消費額は約17・6億円。1人当たりの消費額は木崎浜が6万3833円、お倉ヶ浜は1万7827円と大きく差が付いている。理由としては木崎浜が関西・関東方面からの客が多いこと、それに比べお倉ヶ浜は福岡等のマイカー利用の日帰り客が中心となるため消費額が少ないとのことである。



楽しめる海辺の施設が増加



県外からの車が多いサーフポイント

何十人というサーファーが泳いでいる。関東とは水温が5度も違つと言われる。

また、青島フィッシャーマンズ・ビーチサイドホテル&スパ(青島ホテル)が近年新規オープンし、特に温泉の人氣が高い状況である。二段ベッドであるが、宿泊料金は1980円からとサーファーも意識した料金設定で、極めてリーズナブルである。